

静岡県では、みかん、いちご、レタス等、秋から春にかけて収穫のピークを迎える品目が多い中、担い手の高齢化、他産業における労働者不足も重なり農業の短期雇用の確保が課題となっている。

そこで、シニアや女性等の潜在的な労働力の掘り起こしを行い、各地域の農協無料職業紹介所をの周知機能を高め、農業への就労を促進する。また、県域全体で人材のデータベース化を図り短期雇用ニーズと効率的なマッチングする仕組みを構築する。

### 事業実施主体構成員

静岡県、静岡県農業協同組合中央会  
公益社団法人静岡県農業振興公社(事務局)

### 実績値 (目標値)

- ①労働者のマッチングの仕組みを導入する地区数：3地区(3地区)
- ②新たに労働者を受け入れる農業経営体等数：221 (300経営体)
- ③労働環境に満足している労働者の割合：78 (80%以上)

## 本事業での取組結果

※R3取組内容は下線部分

#### ア 労働力の需給状況の把握 (地域の状況及び労働力提供可能な者の把握等)

- ・ 県農業経営士会、県青年農業士会に労働力確保状況、不足状況、働き方改革を調査(R元年度 250/334経営体回答 )
  - ・ 長期・短期雇用とも70%程度の経営体で不足又は一部不足の回答があり、慢性的な労働力不足の実態が見られる。
  - ・ 支払い可能時給が1,000円以下が85%であり静岡県の平均時給978円を下回る経営体が大半
  - ・ 働き方改革では作業マニュアル、作業環境の改善が明らか
  - ・ 働き方改革の一環として作成した「労務管理チェックシート」を県下生産者、農協等に配布 1,000

#### イ 労働力の確保・育成 (情報発信等)

- ・ 求人サイト「しずおかの農業で働こう」による確保。  
 会員登録者への定期的なメルマガジンの配信、チラシ・ポスターによるサイトの周知
- ・ R2農作業研修会 玉ねぎ定植、大根収穫、ミカン収穫体験を開催し、農作業内容の紹介や就農に関する相談を行った。(25名参加)
- ・ R3 地元鉄道企業との連携による取り組みとして新たにJA三島函南農協と連携し、三島馬鈴薯の収穫体験、地元ホテルとJAとぴあ浜松によるミカン収穫体験を実施する。連携を深めるため、東部地区の3JAと鉄道会社との包括連携協定も結んだ
- ・ これまでアプローチできない潜在的労働力の掘り起こしに向け、web広告、新聞折り込みを活用

#### ウ 労働力等のマッチング及びデータベース化

- ・ 上記求人サイトでのマッチング  
(R3実績 (1月時点)：応募数1459件、成立数708件)
- ・ 求職者のデータベース(R2 710名 R3 708 名 )。

**エ 農業の「働き方改革」への取組み（課題調査及びセミナー開催等）**

- ・多くのパート従業員を雇用するイチゴのパッキングセンターの職場改善の取組み実施
- ・R1年度、浜松地区の大手企業を訪問して農業現場でのダブルワークの可能性調査
- ・農業現場の理解促進に向けた啓発資材として、レタス・イチゴ・馬鈴薯の作業動画作成
- ・雇用に関するセミナーとして、  
代わりに、「労務管理チェックシート」を配布し、意識の向上を図る。
- ・R1年度には、浜松地区の大手の企業を訪問して、農業現場へのダブルワークの可能性について調査する。
- ・農業現場の理解促進に向けた啓発資材として、レタス・イチゴ・馬鈴薯の作業動画作成

**オ 他産地・他産業との連携による労働力確保**

- ・上記地元企業とのマッチングの他、農福連携での体験研修を通じて、お互いの連携に向けた課題が整理された。
- ・本年度、地元鉄道会社による馬鈴薯収穫体験、ホテル従業員によるミカン収穫ボランティア活動等を実施し、他産業との連携活動が動き始める。
- ・県域をまたぐ短期労働力確保対策として特定技能外国人材の派遣について人材派遣会社を介した仕組みを構築した。
- ・労務管理セミナーを農協青壮年部を対象に実施(大井川農協他1JA)、他農協でも計画したが、コロナの影響下で中止

**本事業取組みにおける成果項目**

- ・企業・団体に対する連携活動が開始 4企業・5農協
- ・しず農コネクト(JAグループ求人サイト)登録企業数 26企業)
- ・農福連携による新たな労働力マッチング 9JA

**次年度以降の取組み内容**

次年度以降の取組み内容に関する詳細な計画や実施内容が記載されています。